

世界が進むチカラになる。



経済調査

中国景気概況(2025年10月)

2025年10月2日

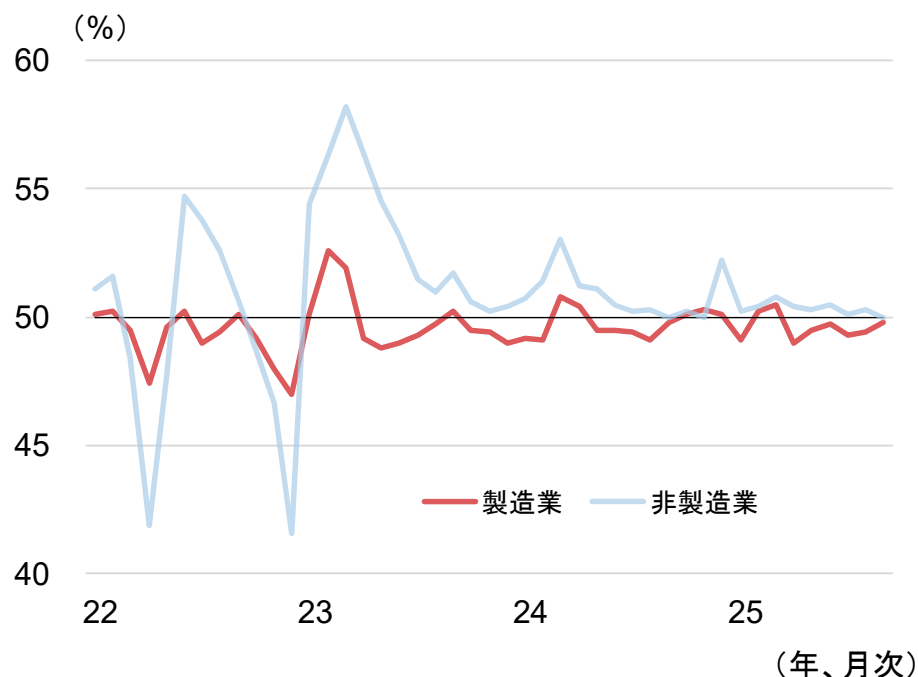
調査部 副主任研究員

丸山 健太

景気は弱い動き

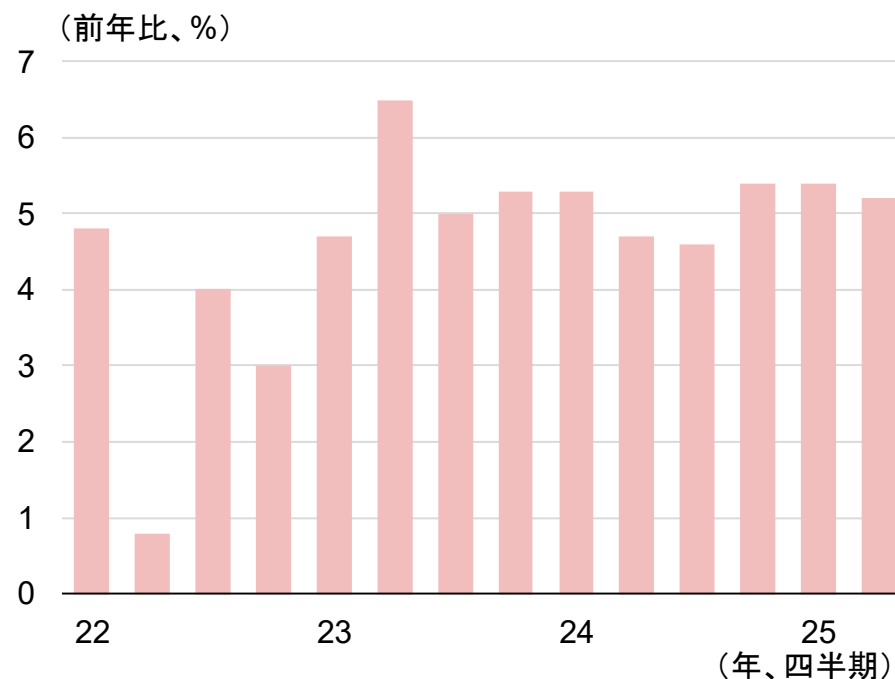
中国景気は弱い動きが続いている。9月の製造業PMIは上昇したものの、6カ月連続で好不況の境目である50を下回った。非製造業は下落し、過去と比較して低水準で推移している。業種別では、夏場の行楽需要が剥落し、飲食サービスなど外出関連業種が50を下回った。なお、2025年4～6月期の実質GDP成長率は前年比+5.2%と、前期に続き、政府の通年目標である「5%前後」の伸びを維持した。ただし、前期比年率換算値は+4.5%と2期連続で鈍化した。

PMI



(出所) 国家統計局

実質GDP(四半期)



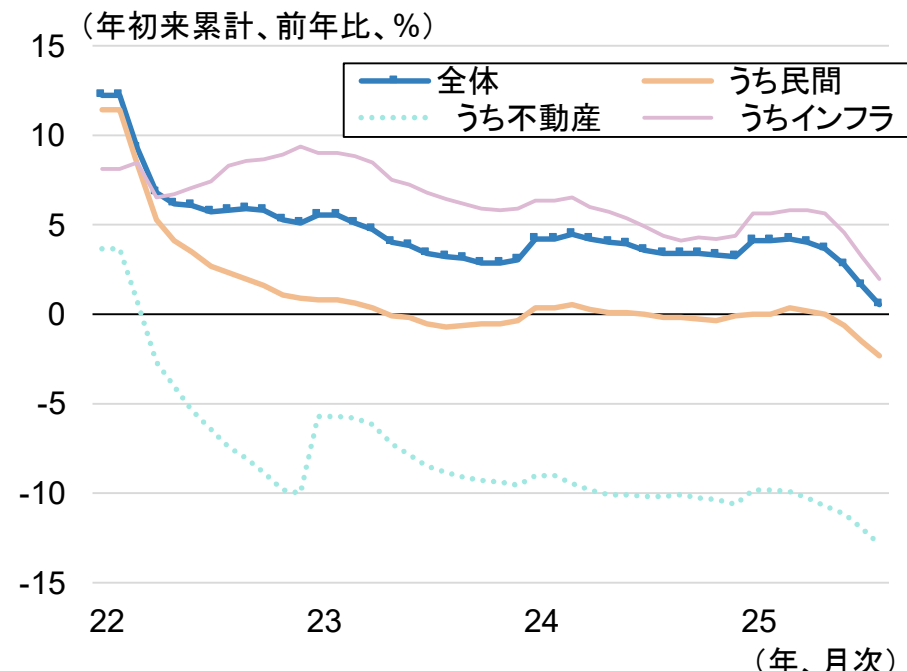
(出所) 国家統計局

固定資産投資、生産ともに増加幅縮小

8月の固定資産投資（年初来累計値）は前年比+0.5%と前月から伸びが縮小し、5年ぶりの低い伸びとなった。季節調整済み前月比は3ヵ月連続でマイナスだった。内訳をみると、民間投資や不動産投資の減少幅拡大が大きかった。

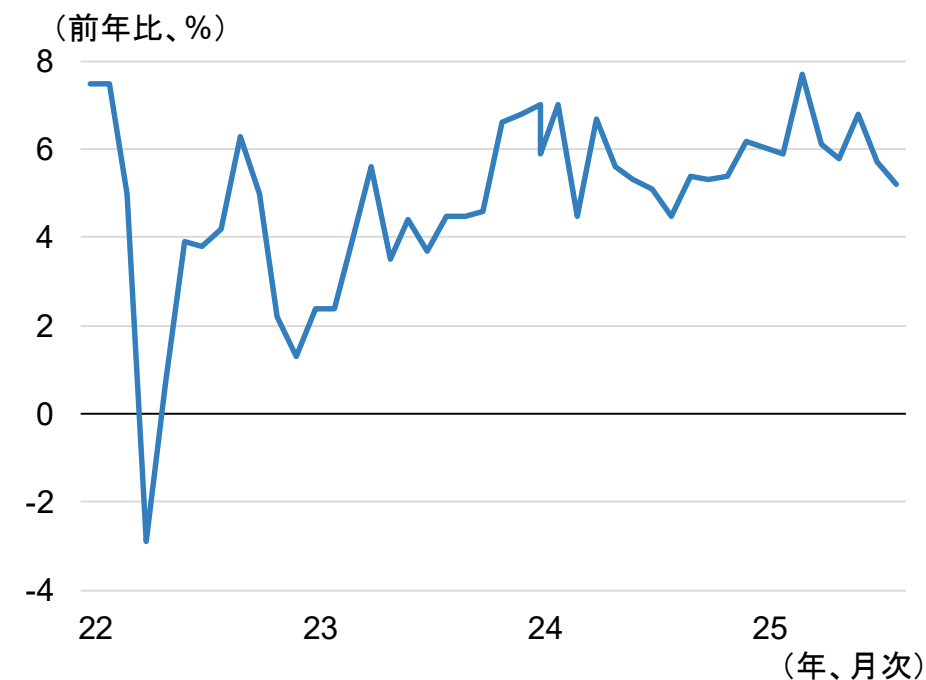
8月の工業生産は前年比+5.2%と2ヵ月連続で前月から伸びが縮小した。季節調整済み前月比も4ヵ月連続で増加幅が縮小した。業種別では好調を維持してきた通信・電子設備や電気機械、自動車の伸びの縮小が続いた。

固定資産投資



(出所) 国家統計局

工業生産



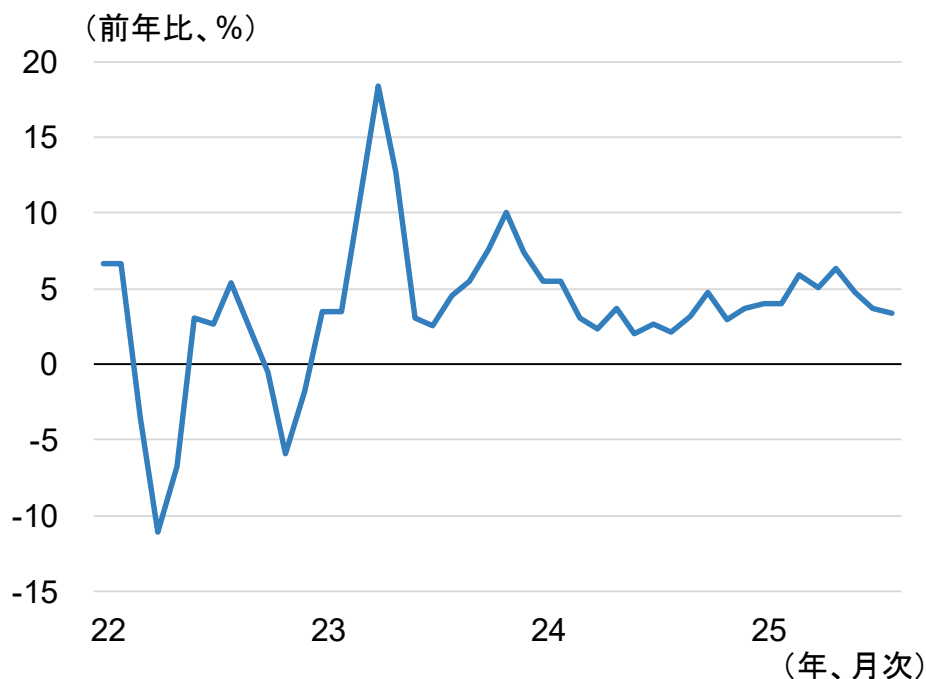
(出所) 国家統計局

消費は一部に政策効果が表れるも弱い動き、物価は低迷

8月の小売売上高(名目)は前年比+3.4%と3ヵ月連続で前月から伸びが縮小した。政府の買い替え促進策の効果で、家具(前年比+18.6%)や家電(同+14.3%)、通信機器(同+7.3%)の大幅な増加は続いたものの、5月頃をピークに徐々に増加幅が縮小している。消費は総じてみると、家計の節約志向の高まりを背景に弱い動きが続いた。

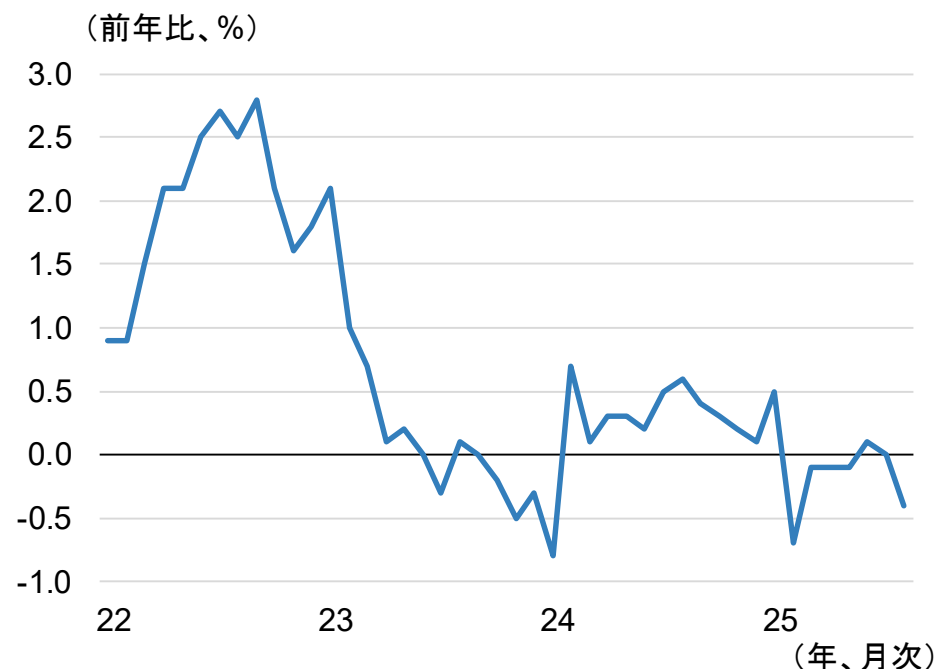
8月の消費者物価は前年比-0.4%と3ヵ月ぶりに下落した。豚肉など食品の価格下落が物価を押し下げた。

小売売上高(名目)



(出所) 国家統計局

消費者物価指数

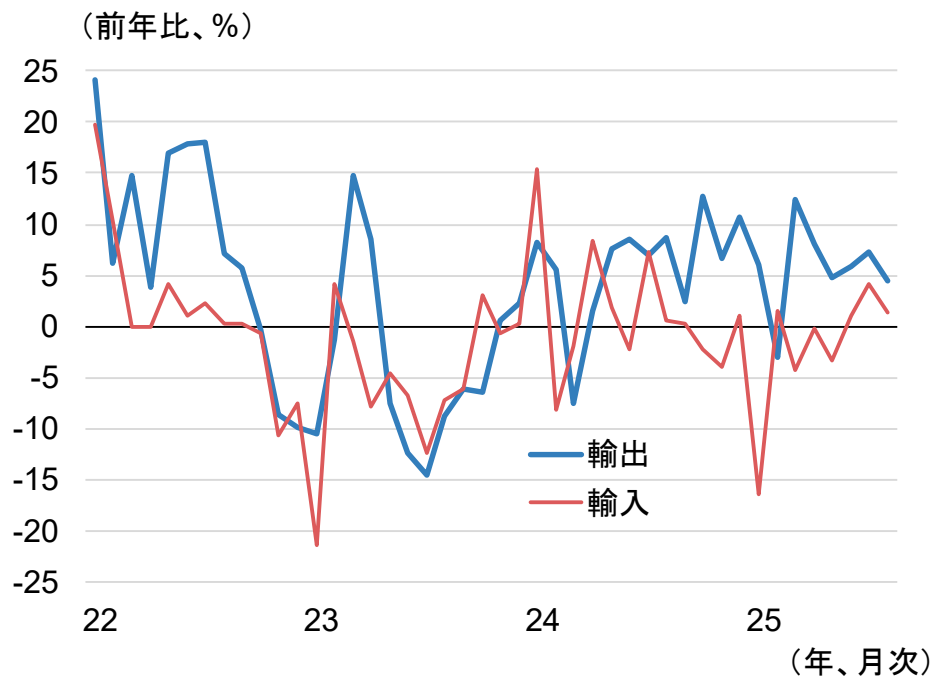


(出所) 国家統計局

輸出、輸入ともに増加

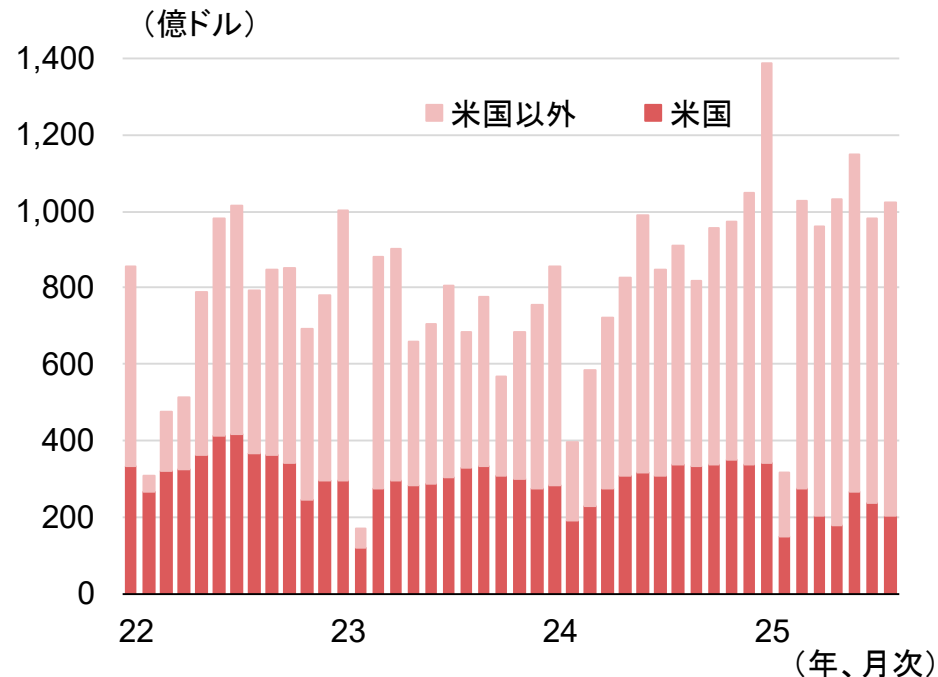
8月の輸出は前年比+4.4%と6ヵ月連続で増加した。輸入は同+1.3%と3ヵ月連続で増加した。貿易黒字は1,023億ドルと前年同月(910億ドル)から拡大した。輸出を国・地域別で見ると、トランプ関税の影響で米国向け(前年比-33.1%)が大幅に減少する中、ASEAN向け(同+22.5%)が大きく増加するという構図が4月から続いている。輸入は、香港や日本などアジアの増加が大きかった。貿易収支は、対米国の黒字幅が縮小した一方、対ASEANの黒字幅拡大が大きかった。

財輸出入



(出所) 海関総署

貿易収支



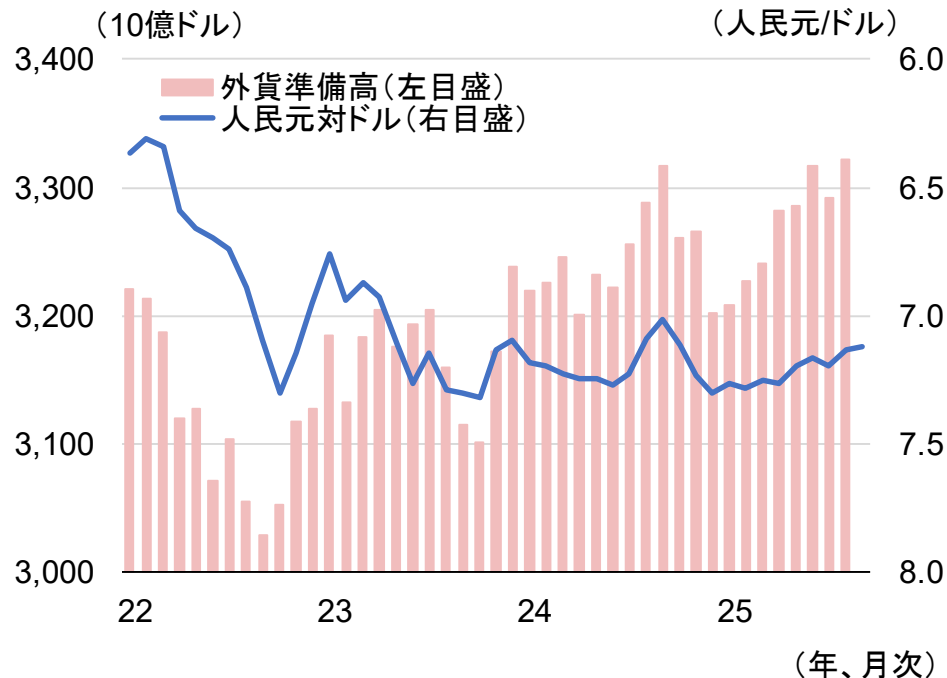
(出所) 海関総署

為替は横ばい、株価は高値圏で推移

人民元の対ドルレート(9月末)は1ドル=7.12元だった。米中対立懸念の後退で人民元が買われた一方、米国の追加利下げ観測の後退でドル買いも進み、同レートは安定的に推移した。8月末の外貨準備高は3兆3,222億ドルと増加した。

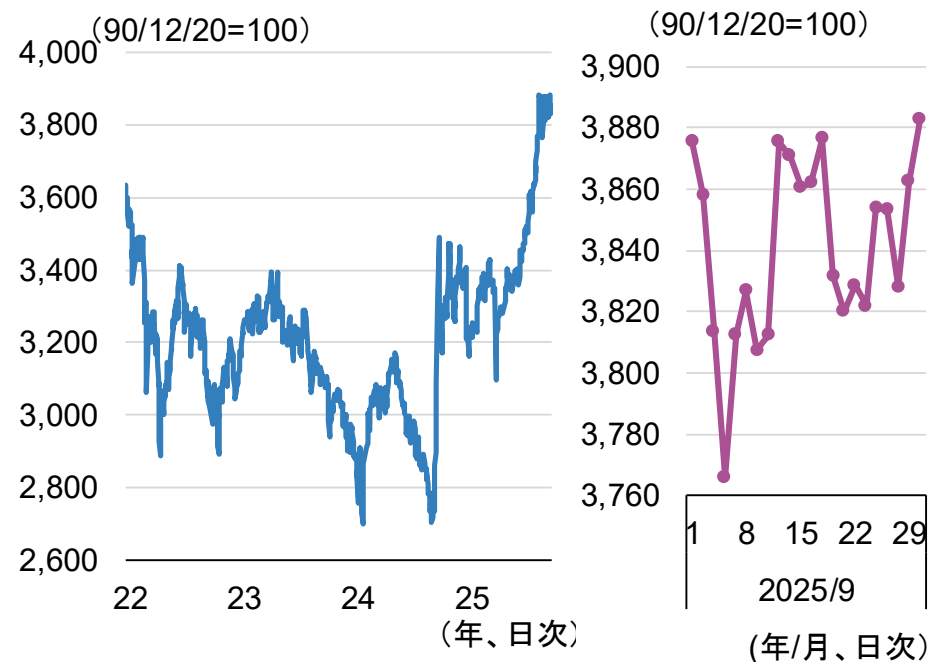
9月の上海総合株価指数は、月間を通じて約10年ぶりの高値圏で推移した。首脳電話会談を受けた米中対立緩和への期待が株価を押し上げた一方、国慶節休暇前の持ち高調整や高値圏による利益確定売りが、株価の上値を抑えた。

外貨準備高



(出所) 中国人民銀行、中国外貨交易センター

上海総合株価指数



(出所) 上海証券交易所

米中通商交渉は、中国が硬軟織り交ぜた対応で主導権を握る

9月中旬、米中両国はスペイン・マドリッドで閣僚級協議を実施したほか、6月以来の首脳電話会談を行った。中国は、中国企業が運営する動画投稿アプリ「TikTok」の米国事業売却を承認するなど、柔軟な姿勢で交渉に臨んでいる（左図）。

一方、中国は4月に導入したレアアースの輸出管理を引き続き厳格に運用している。一部報道ではレアアース輸出が順次承認されているようだが、実際には米国以外向けの輸出は回復しているものの、米国向けは大幅な減少が続いている（右図）。米中通商交渉において、中国は今後も硬軟織り交ぜた対応を続け、交渉を有利に進めるとみられる。

中国の対米交渉のカード

中国政府は一部で譲歩の姿勢も

「TikTok」の米国事業売却承認

米国産大豆の輸入拡大検討

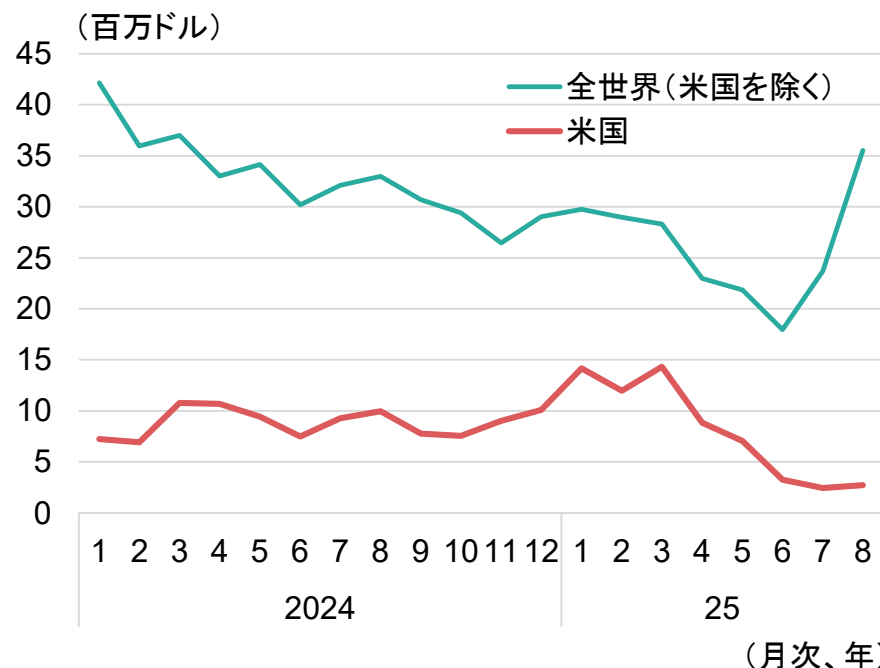
ボーイング社製航空機の契約協議

一方、強気な対応は継続

レアアースの輸出管理厳格化

（出所）MURC作成

レアアースの輸出金額(3ヵ月後方移動平均)



（注）「レアアース」はHSコード280530、284610、284690の合計

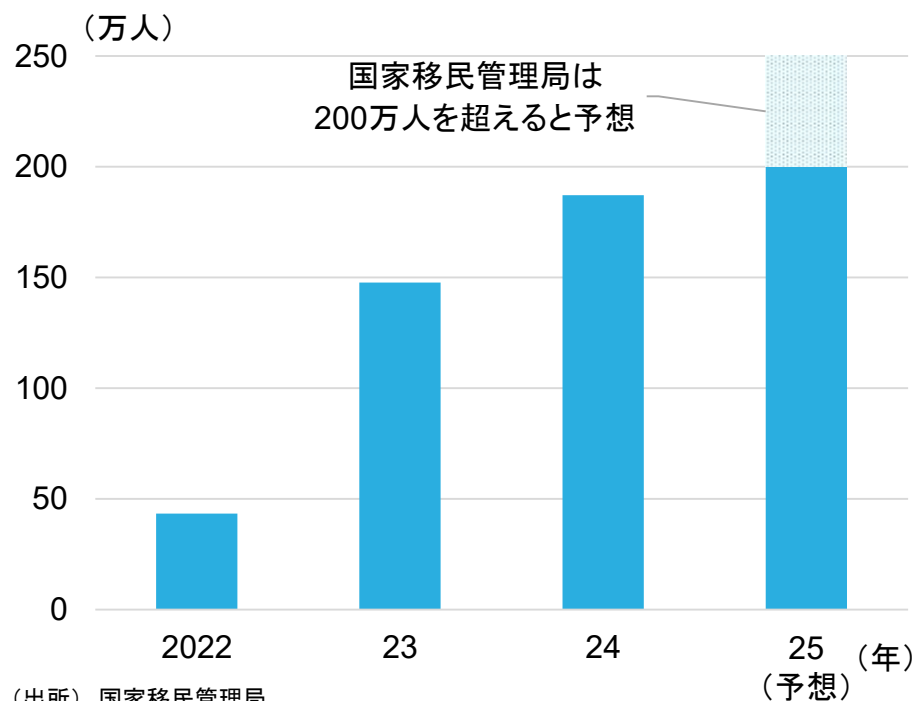
（出所）海関総署

国慶節休暇は例年より長く、中国人の訪日旅行は増加の見込み

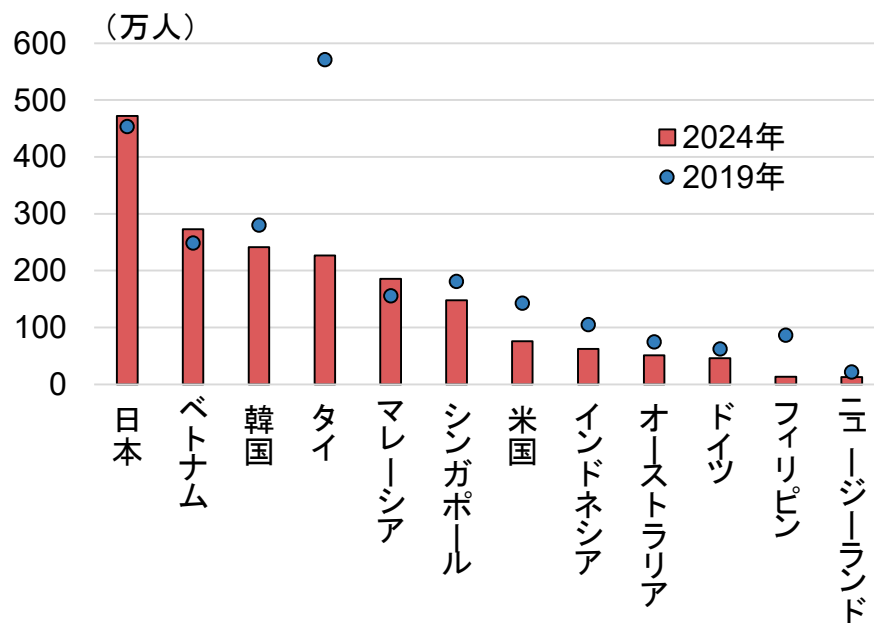
建国記念日(国慶節)の10月1日から8連休が始まった。今年の国慶節休暇は中秋節と重なり例年より1日長く、旅行需要の増加が予想される。交通運輸部によると、国内の延べ移動人数は前年比+17.8%の23.6億人に達する見込みである。

また、海外旅行も増加が見込まれ、国家移民管理局は出入国数が1日あたり200万人を超えると予測した(左図)。現在、中国人の海外旅行先として日本の人気が高く、今年上半期には日本が中国人の渡航先として最多となった(右図)。円安による日本旅行の割安感や関西万博の人気などが背景にあり、国慶節休暇中も訪日旅行の盛り上がりが見込まれる。

中国の国慶節休暇における出入国者数(1日あたり)



国別の中国人観光客数(年上半期)



(出所) 日本政府観光局、タイ観光・スポーツ省、韓国観光公社、ベトナム統計総局、マレーシア政府観光局、シンガポール政府観光局、米国商務省旅行・観光局、インドネシア中央統計庁、ドイツ連邦統計局、オーストラリア統計局、フィリピン政府観光庁、ニュージーランド統計局

ご利用に際して

- 本資料は、執筆時点で信頼できるとされる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
- また、本資料は、執筆者の見解に基づき作成されたものであり、当社の統一的な見解を示すものではありません。
- 本資料に基づくお客さまの決定、行為、およびその結果について、当社は一切の責任を負いません。ご利用にあたっては、お客さまご自身でご判断くださいますようお願い申し上げます。
- 本資料は、著作物であり、著作権法に基づき保護されています。著作権法の定めに従い、引用する際は、必ず、出所：三菱UFJリサーチ&コンサルティングと明記してください。
- 本資料の全文または一部を転載・複製する際は著作権者の許諾が必要ですので、当社までご連絡ください。

(お問い合わせ)

調査部 丸山健太

TEL: 03-6733-1630 E-mail: chosa-report@murc.jp

〒105-8501

東京都港区虎ノ門5-11-2 オランダヒルズ森タワー